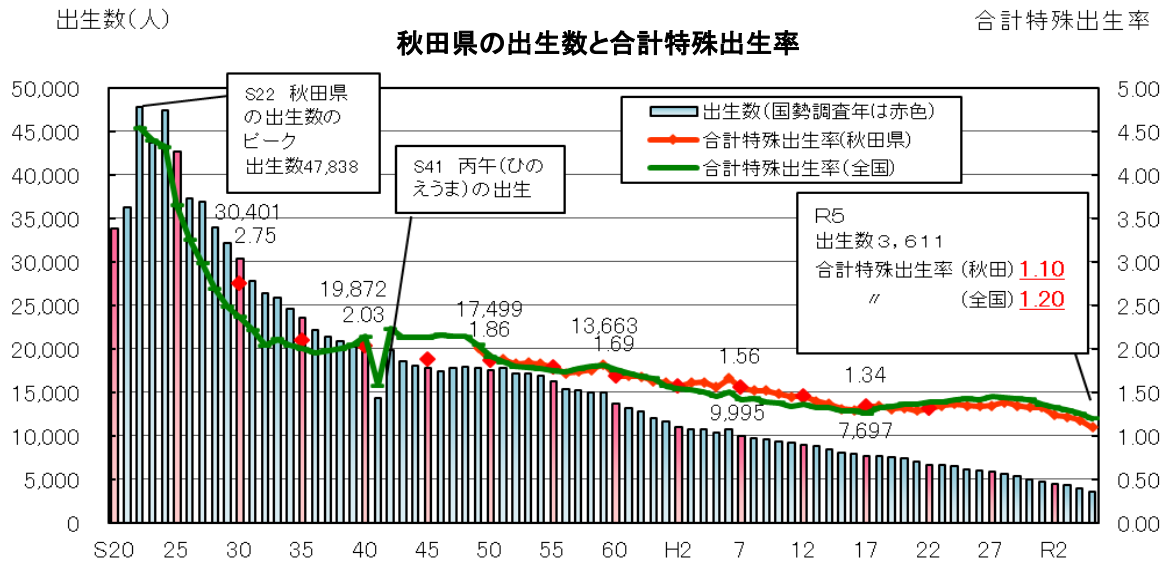


1. 出生・婚姻等の動向

(1)出生数・合計特殊出生率

秋田県の出生数は、戦後の第1次ベビーブーム期(昭和22～24年)の約4万8千人をピークに減少が続き、令和5年には3,611人まで減少しています。また、合計特殊出生率(一人の女性が生涯に生む子どもの数を示す指標)は横ばい傾向にありましたが、令和5年は1.10と低下しました。

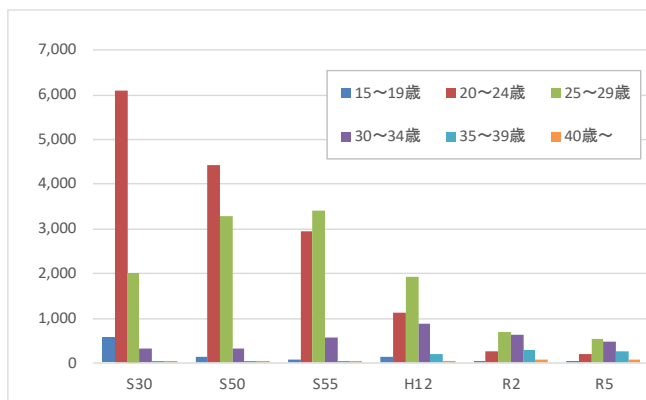


	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
出生数(人)	5,998	5,861	5,666	5,396	5,040	4,696	4,499	4,335	3,992	3,611
(対前年増減)	-179	-137	-195	-270	-356	-344	-197	-164	-343	-381
合計特殊出生率	1.34	1.35	1.39	1.35	1.33	1.33	1.24	1.22	1.18	1.10

(厚生労働省 人口動態統計)

(2)第1子を生んだ母の年齢別出生数

母親が最初の子ども(第1子)を生んだときの年齢を年(時代)ごとに比較すると、昭和30年では20～24歳で生んだ第1子の数が最も大きい割合を占めていましたが、昭和55年には25～29歳で生んだ第1子の数が最も多くなりました。令和5年には、25～29歳と30～34歳で生んだ第1子の数の差は縮小しており、それぞれの年齢ごとに生む第1子の数も少なくなっています。



母の年齢別出生数(第1子)

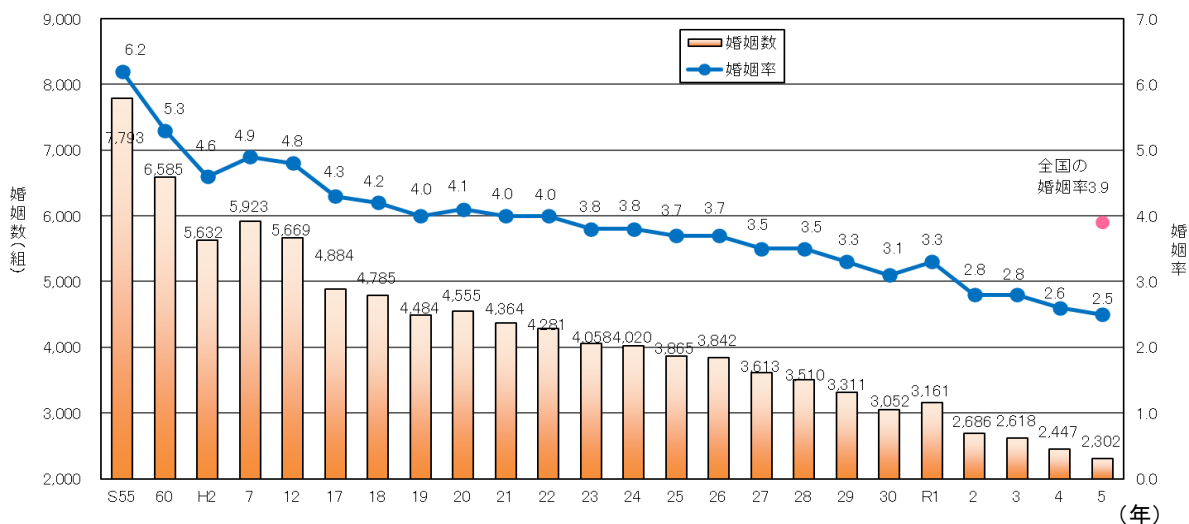
	1955	1975	1980	2000	2020	2023
	S30	S50	S55	H12	R2	R5
総数	9,065	8,238	7,091	4,299	2,014	1,579
15～19歳	559	134	86	126	16	19
20～24歳	6,086	4,427	2,950	1,123	275	192
25～29歳	2,020	3,281	3,409	1,918	704	538
30～34歳	331	326	576	891	620	480
35～39歳	61	55	61	213	308	267
40歳～	8	15	9	28	91	83

(年齢)

(厚生労働省 人口動態統計)

(3)婚姻の状況

秋田県の婚姻数は、昭和55年で約8千組ありましたが、令和2年には3千組を割り込み、令和5年は2,302件まで減少しました。婚姻率(人口千人に対する婚姻数)は、平成20年では4.1でしたが、令和5年には2.5まで減少し、平成12年以来、24年連続で全国最下位となっています。



(厚生労働省 人口動態統計)

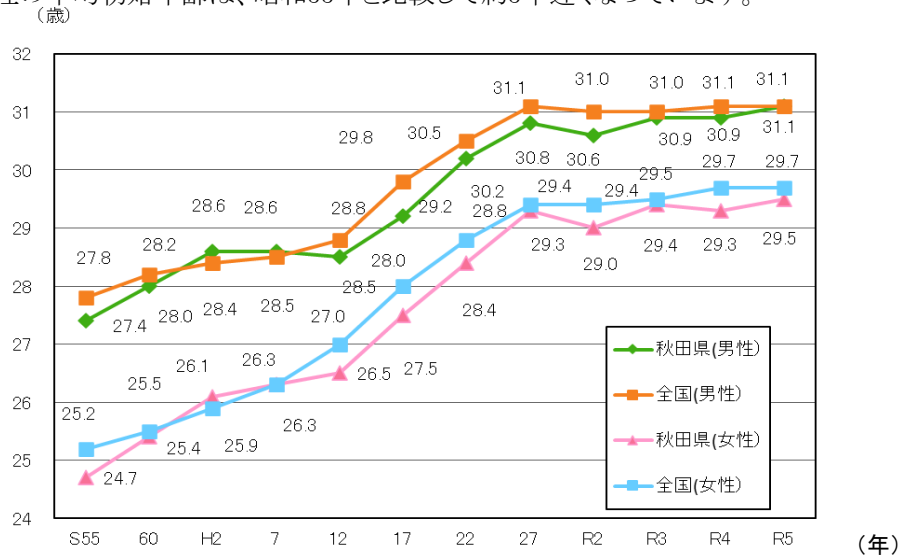
■直近10年間の婚姻件数、婚姻率

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
婚姻数(件)	3,842	3,613	3,510	3,311	3,052	3,161	2,686	2,618	2,447	2,302
(対前年増減)	-23	-229	-103	-199	-259	109	-475	-68	-171	-145
婚姻率	3.7	3.5	3.5	3.3	3.1	3.3	2.8	2.8	2.6	2.5

(4)平均初婚年齢

秋田県の平均初婚年齢は、全国平均とともに年々上昇傾向にあり、令和5年には、夫が31.1歳、妻が29.5歳と全国平均とほぼ同水準となっています。

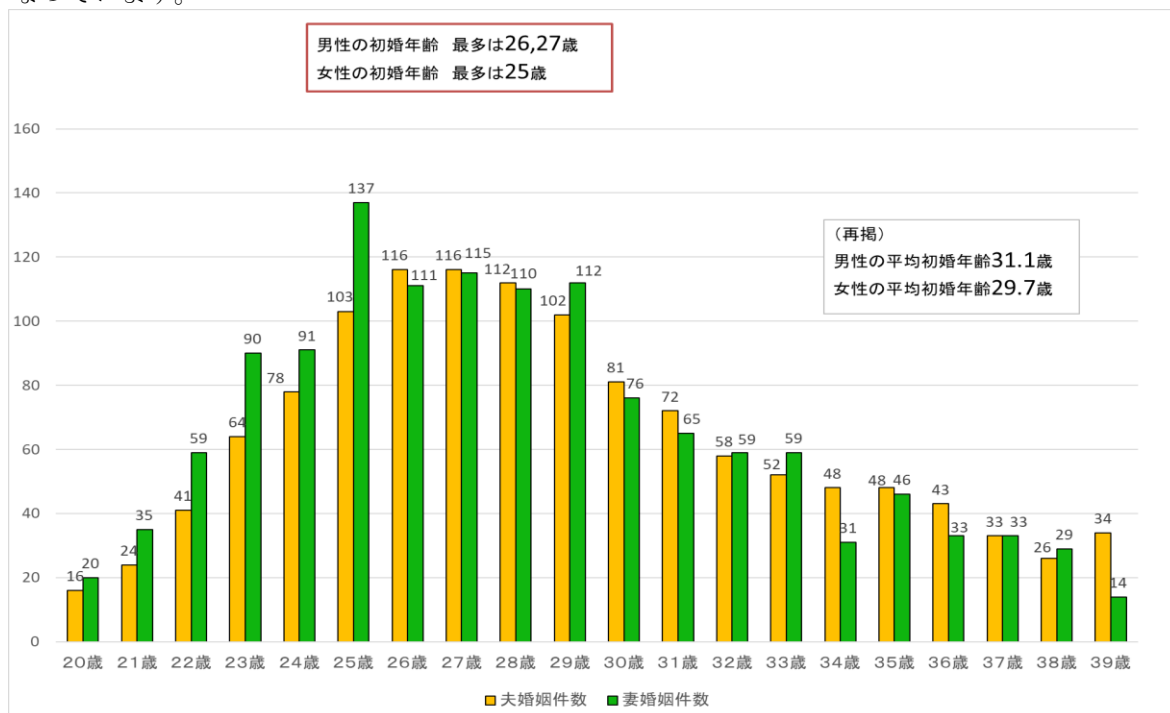
また、女性の平均初婚年齢は、昭和55年と比較して約5年遅くなっています。



(厚生労働省 人口動態統計)

(5)初婚年齢別の婚姻件数(令和5年)

秋田県の初婚年齢別の婚姻件数について、男性は26,27歳、女性は25歳の婚姻件数が最も多くなっています。



(厚生労働省 人口動態統計)

(6)未婚率

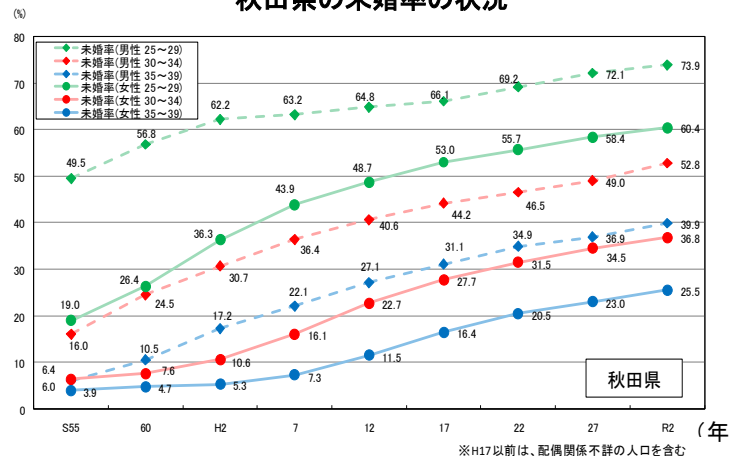
秋田県の未婚率は、男女ともに年々上昇傾向にあります。令和2年の30～34歳の男性の未婚率が52.8%である一方、女性は36.8%と、男性の未婚率はどの年代においても女性よりも高い傾向が見られます。

未婚者数(R2国勢調査)

	男	女	計
15～19歳	18,640	17,565	36,205
20～24歳	14,279	12,365	26,644
25～29歳	11,919	9,050	20,969
30～34歳	10,186	6,870	17,056
35～39歳	9,711	5,982	15,693
40～44歳	9,686	5,479	15,165
45～49歳	8,938	5,204	14,142
上記計	83,359	62,515	145,874
50歳以上	29,993	16,623	46,616
合計	113,352	79,138	192,490

(人)

秋田県の未婚率の状況



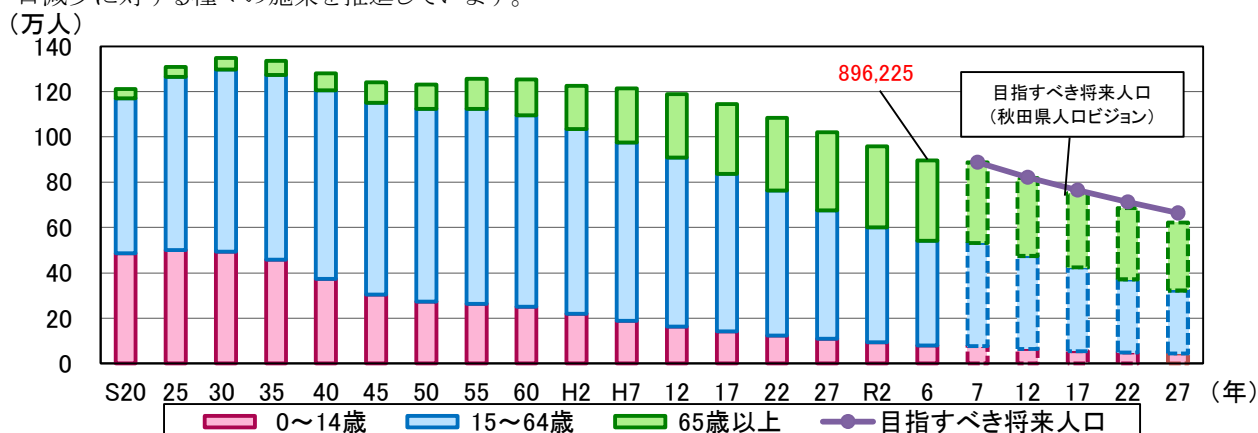
未婚者数: 一度も結婚をしたことがない人
(死別・離別を含まない。)

(総務省 国勢調査)

2. 人口の動向

(1)秋田県の人口の推移と将来推計・展望

秋田県の人口は、ピークであった1956年(昭和31年)の約135万人から年々減少し続けており、ピークから68年後の2024年(令和6年)には、約45万人少ない約90万人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の推計やこれに準拠した推計によると、今後も県人口の減少が続くと予測されるが、平成27年に策定(令和4年3月改訂)した「秋田県人口ビジョン」では、2065年(令和47年)の「目指すべき将来人口」を約51万人と設定し、その実現に向け人口減少に対する種々の施策を推進しています。



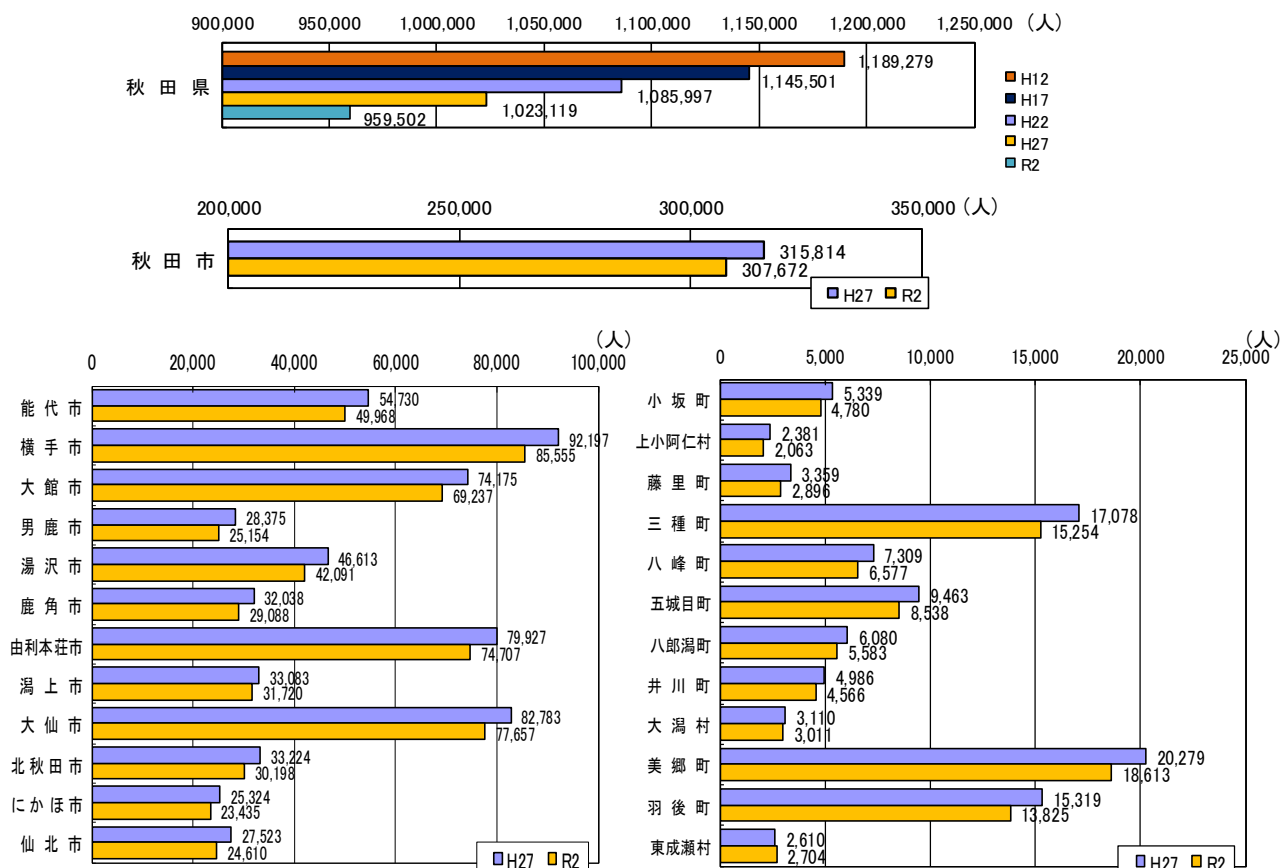
(令和2年まで総務省 国勢調査、令和6年は秋田県調査統計課 年齢別人口流動調査)

(令和7年以降は国立社会保障・人口問題研究所の推計、目指すべき将来人口は秋田県人口ビジョン)

(2)市町村別人口

国勢調査によると、県及び市町村の人口は次のとおりです。

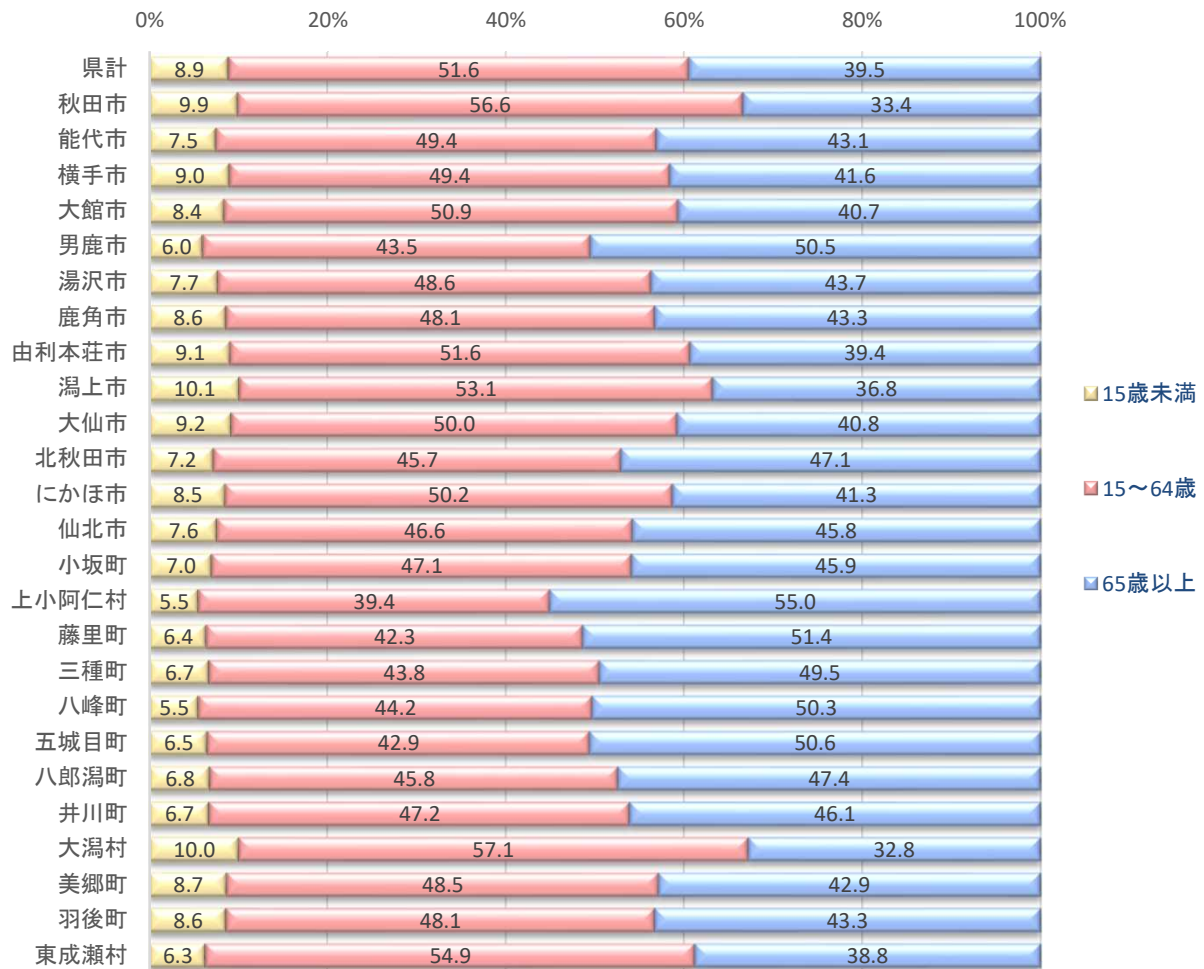
※「平成17年」の数値はその後合併した市町村の人口を合計したものです。



(総務省 国勢調査<秋田県調査統計課 令和2年国勢調査に関する不詳補完結果>)

(3)市町村別年齢3区分人口比率(令和6年)

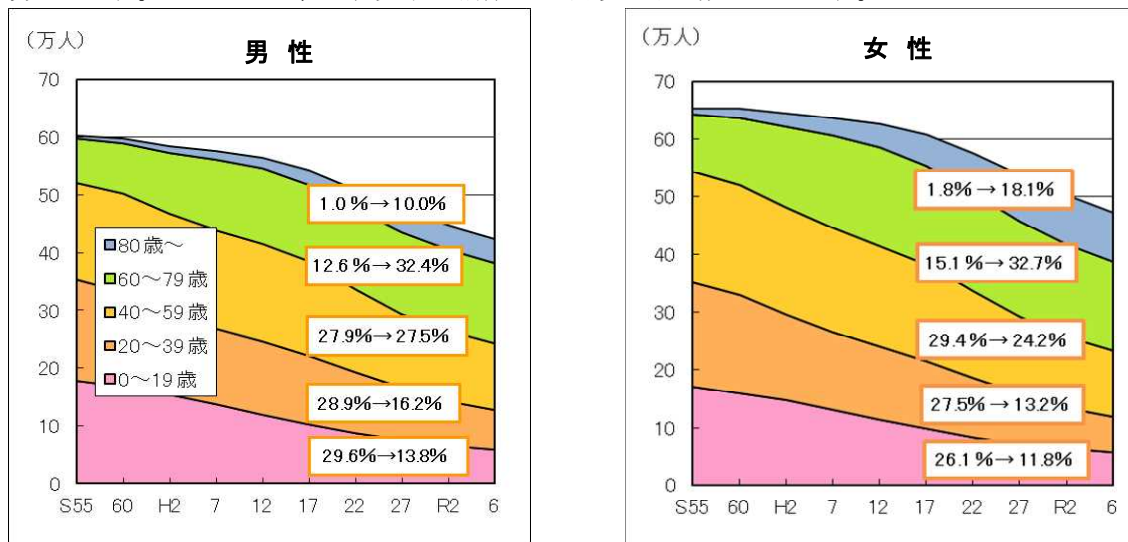
市町村別の年齢3区分による人口比率は次のとおりです。



(秋田県調査統計課 令和6年秋田県年齢別人口流動調査)

(4)年齢別人口構成

年齢を20歳単位(19歳まで、20～39歳、40～59歳、60～79歳、80歳以上)で区切り、その構成比を表すと次のとおりになります。昭和55年と令和6年で比較すると、男女ともに60歳以上の構成比が増えていることが分かります。その一方で、39歳以下の構成比は男女ともに減っています。

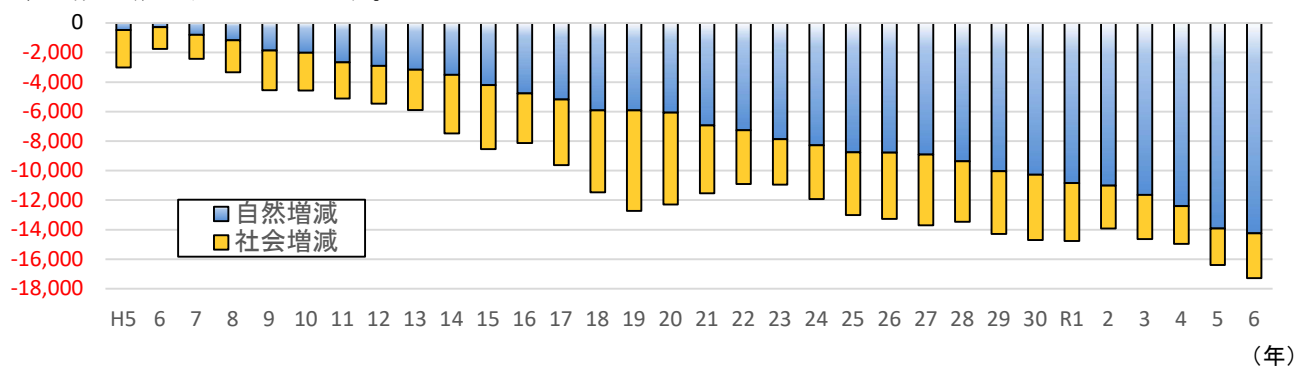


(総務省 国勢調査、R6年は秋田県調査統計課 秋田県年齢別人口流動調査)

(5)秋田県の人口動態の状況

秋田県の人口動態を見ると、社会動態は、常に転出者数が転入者数を上回る社会減となっていて、転出超過のほとんどが15～24歳の年齢区分によるものです。移住定住促進施策の推進により、令和元年には、平成24年以来7年ぶりに社会減が4千人を下回り、令和2年には3千人を下回るなど徐々にその成果が現れています。

一方、自然動態は、平成5年に初めて死亡者数が出生者数を上回る自然減の状態となり、その後は、年々減少幅が拡大しています。

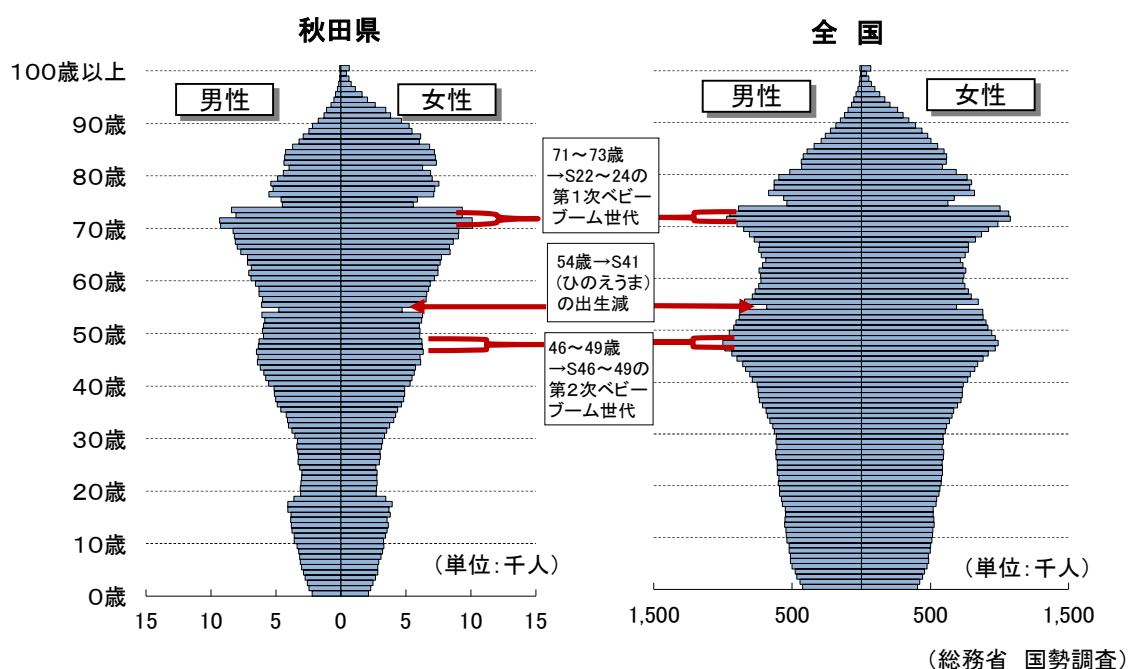


	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
自然増減	-8,785	-8,921	-9,360	-10,032	-10,280	-10,840	-11,012	-11,636	-12,402	-13,909	-14,250
社会増減	-4,486	-4,789	-4,100	-4,253	-4,410	-3,917	-2,910	-2,992	-2,557	-2,492	-3,039
(うち15～24歳)	-3,697	-3,624	-3,607	-3,480	-3,538	-3,211	-3,292	-3,110	-2,386	-2,306	-2,469

(平成5年まで秋田県調査統計課 秋田県の人口と世帯、平成6年以降同課 秋田県年齢別人口流動調査)

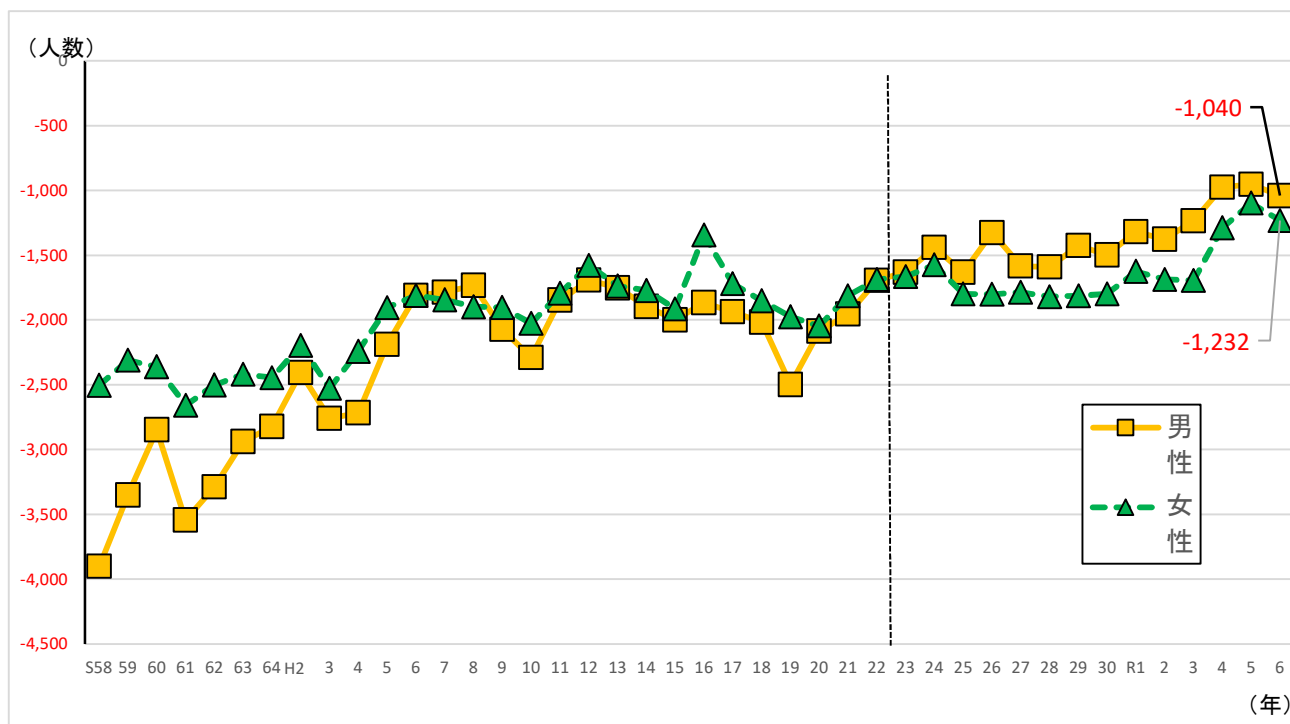
(6)人口ピラミッド

令和2年国勢調査に基づく秋田県と全国の人人口ピラミッドを比較すると、秋田県の19～30歳の人口にくぼみが見られ、形の違いが明確に表れており、社会減の状況が反映されています。



(7)18～23歳人口の社会減の推移

秋田県の18～23歳人口の社会減は、平成6～8年を除いて、女性よりも男性の減少数が多い状態が続いていましたが、平成23年以降は、女性の減少数が多い状態に転じています。



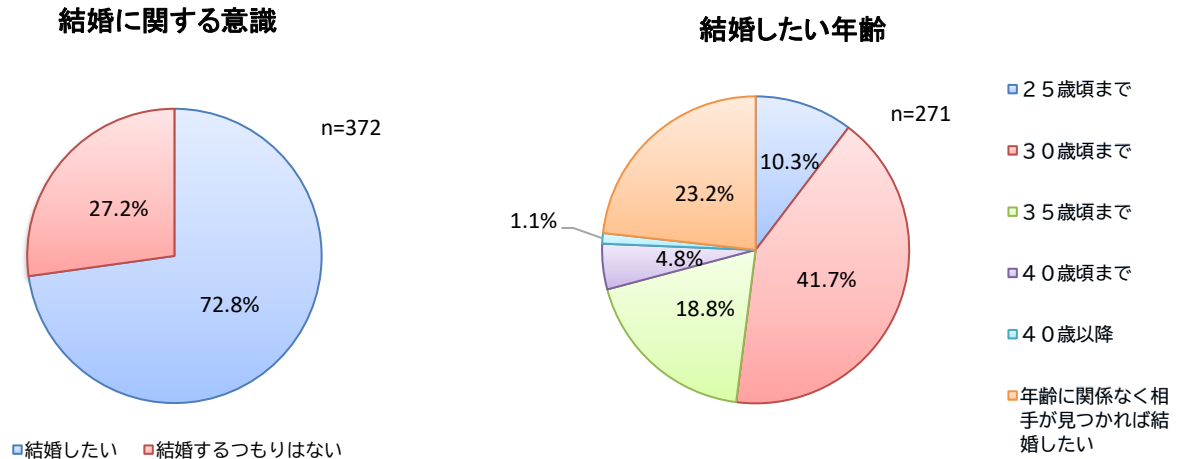
(秋田県調査統計課 令和6年秋田県年齢別人口流動調査)

3. 結婚・子育てをめぐる状況

(1)結婚に関する意識

県内の18歳以上の独身の方へのアンケートでは、「結婚したい」と答えた人が最も多く、結婚に前向きな人は7割を超えています。

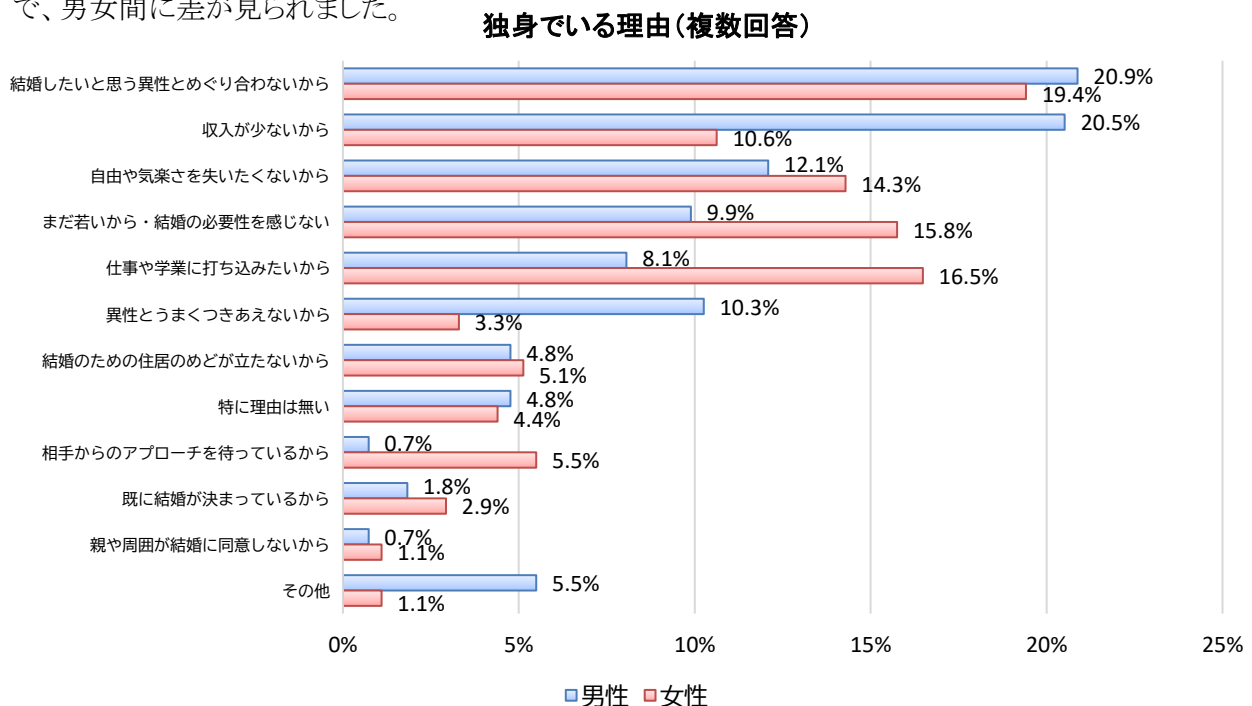
また、「結婚したい」と答えた人に、結婚を希望する年齢を聞くと、30歳頃までを希望する人が過半数を占め、約4人に1人は年齢に関係なく、相手が見つければ結婚したいと答えています。



(次世代・女性活躍支援課 令和5年度結婚に関する意識調査)

(2)独身でいる理由

県内の18歳以上の独身の方に対して独身でいる理由を聞くと、男女ともに約5人に1人が「結婚したいと思う異性にめぐり会わないから」と答えました。また、「収入が少ないから」、「まだ若いから・結婚の必要性を感じない」、「仕事や学業に打ち込みたいから」、「異性とうまくつきあえないから」などの項目で、男女間に差が見られました。



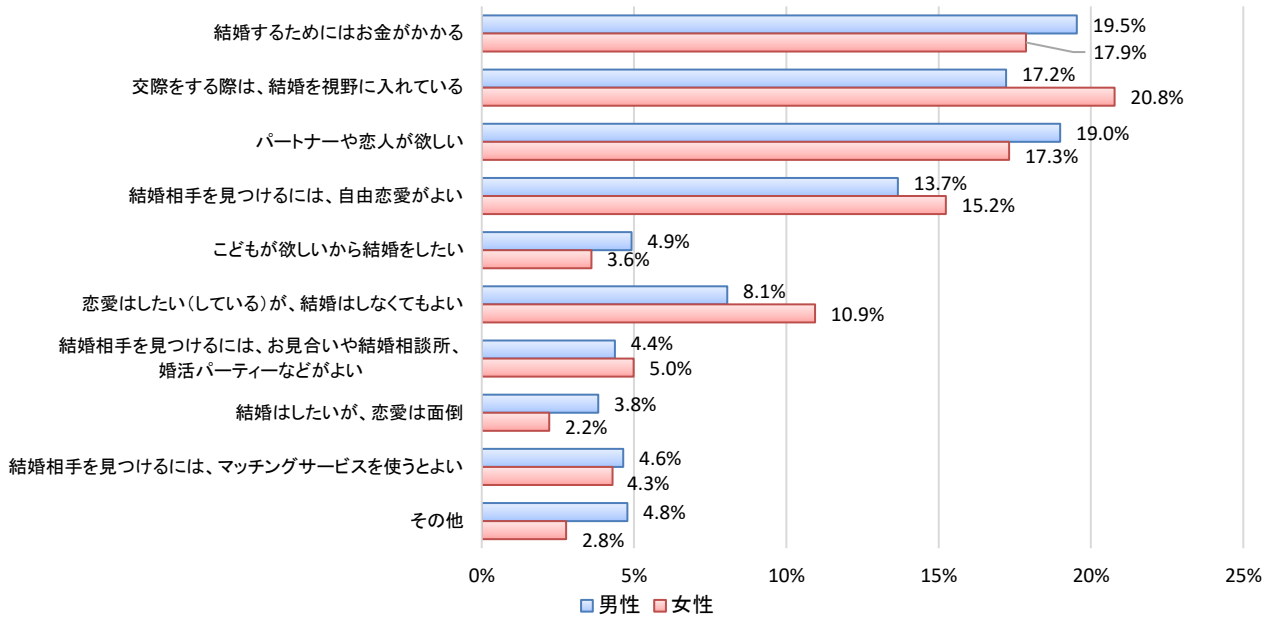
(次世代・女性活躍支援課 令和5年度結婚に関する意識調査)

※3つまで選択可。男性の回答数: 273, 女性の回答数: 273

(3)恋愛や結婚に対する考え方

県内の若者を中心に恋愛や結婚に対する考え方を聞くと、「交際する際は、結婚を視野に入れている」、「結婚するためにはお金がかかる」、「パートナーや恋人が欲しい」が男女ともに上位3項目となりました。

恋愛や結婚に対する考え方(複数回答)

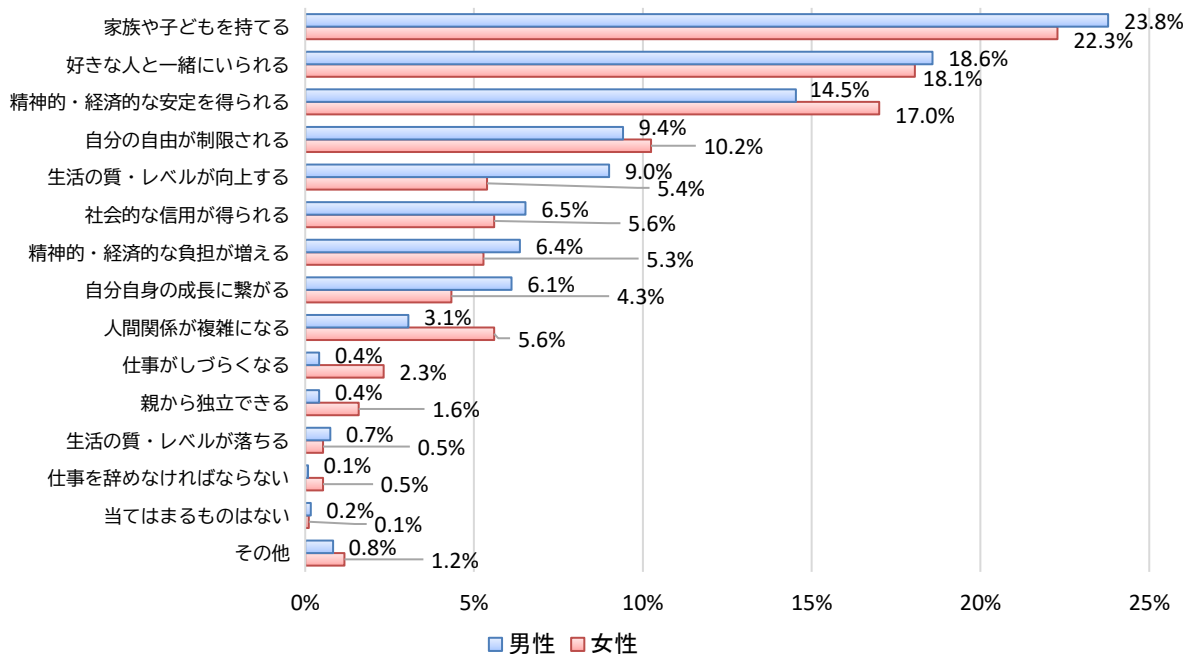


(次世代・女性活躍支援課 秋田県子ども計画策定のための若者の意見調査)
※いくつでも選択可能。男性の回答数:732, 女性の回答数:722

(4)結婚に対するイメージ

県内の18歳以上の方に対し結婚に対するイメージを聞くと、男女ともに「家族や子どもを持てる」、「好きな人と一緒にいられる」、「精神的・経済的な安定を得られる」の上位3項目となりました。「自分の自由が制限される」等の結婚に対する否定的なイメージもありますが、全体としては「生活の質・レベルが向上する」等の肯定的なイメージが多い結果となりました。

結婚に対するイメージ(複数回答)

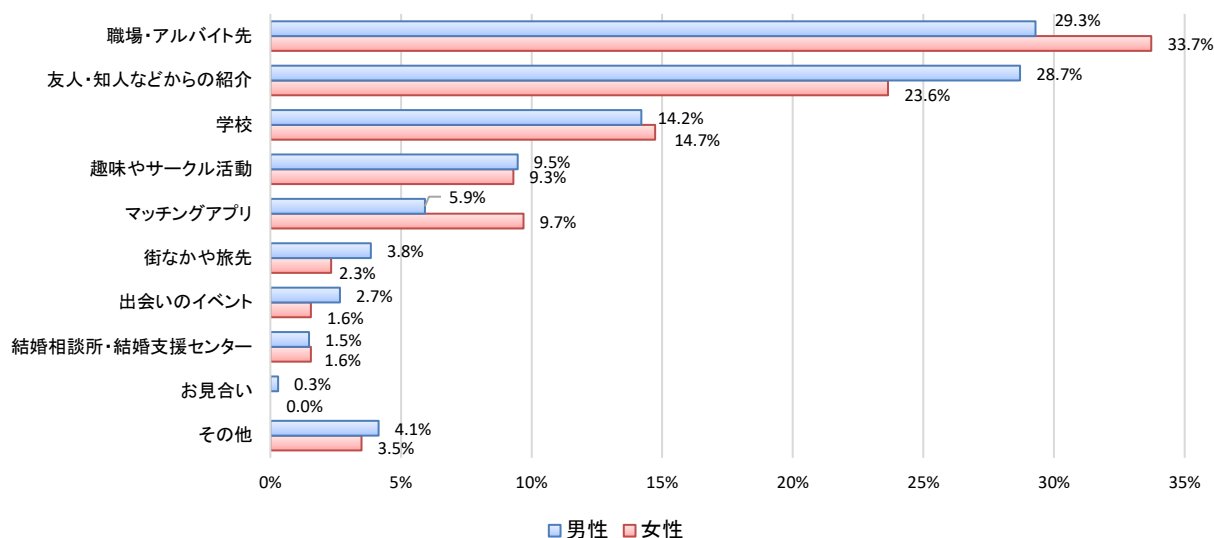


(次世代・女性活躍支援課 令和5年度結婚に関する意識調査)
※3つまで選択可。男性の回答数:1,211, 女性の回答数:947

(5) 交際・結婚相手と出会ったきっかけ

県内の既婚者及び18歳以上の交際中の方に対し、交際・結婚相手と出会ったきっかけを聞くと、男女ともに「職場・アルバイト先」、「友人・知人などからの紹介」、「学校」で7割以上を占めました。また、男性の約20人に1人、女性の約10人に1人はマッチングアプリをきっかけに出会っています。

交際・結婚相手と出会ったきっかけ(複数回答)

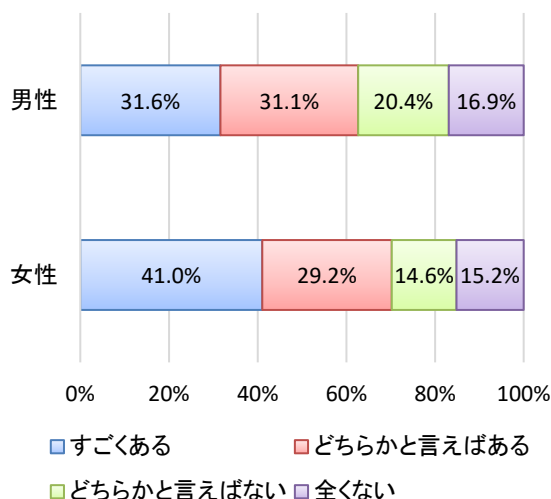


(次世代・女性活躍支援課 令和5年度結婚に関する意識調査)
※いくつでも選択可。男性の回答数:338, 女性の回答数:258

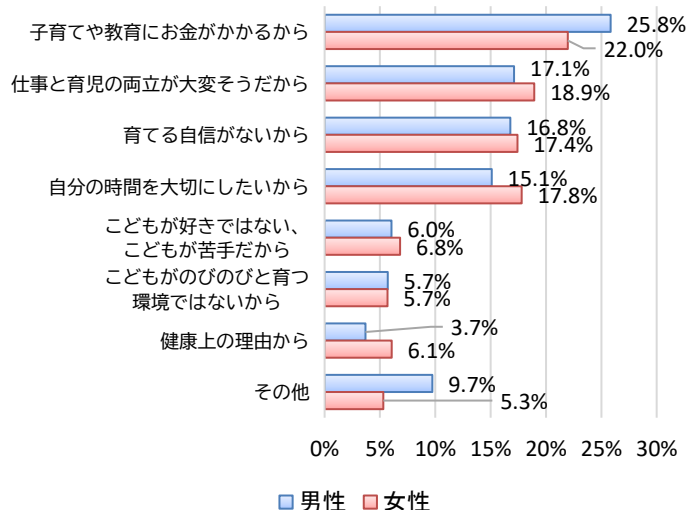
(6) 将来子どもをほしいと思うかについて

県内の若者を中心に「将来子どもをほしい」または「もう一人子どもがほしい」という気持ちがあるかを聞いたところ、男性は約6割、女性は約7割が「すごくある」または「どちらかと言えばある」と答えました。「どちらかと言えない」、「全くない」と回答した方からは、経済面や仕事と育児の両立に対する不安、他には自分の時間を大切にしたいといった声が聞かれました。

「将来子どもをほしい」または「もう一人子どもがほしい」という気持ちがある方



「どちらかと言えない」、「全くない」と回答した方の声



(次世代・女性活躍支援課 秋田県こども計画策定のための若者の意見調査)
※男性の回答数:367, 女性の回答数:363, 性別未回答:10

(次世代・女性活躍支援課 秋田県こども計画策定のための若者の意見調査)
※いくつでも選択可。男性の回答数:298, 女性の回答数:264, 性別未回答:19